

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4年 4月 12日

事業所名 ひまわり近江堂

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	法令で定められているスペースを確保しています	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	法令で定められている配置数に加え、子ども1名に対して、職員が1名つけられるように努力しています	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	67%	33%	用途に応じてカーテンで仕切って刺激を減らしたり、内装をシンプルにしています。 事業所内外にスロープや手すりを設置し、トイレを広く設計する等、バリアフリー化を図っています。 お子さんの状態に応じて、安全に利用できるように配慮しています	個別での対応はまだ工夫できる点があるとの意見がありましたので、お子さんの状態に応じて、細やかな対応を目指して取り組んでいきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日子どもたちが帰宅後、清掃やおもちゃ等の消毒を行い、環境整備を行っています	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・活動終了後に職員間で1日の活動の振り返りを実施しています。良かった点・改善点等を話し合い、日々の活動を充実できるように心がけています。 ・月に1度のペースで非常勤スタッフも参加する合同ミーティングを実施し、目標の確認・振り返りに努めています	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者の方への満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	67%	33%	ホームページにて公開しております。事業所内の会報(ひまわりだより)でも、公開のお知らせをしております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%		現在は、利用者・事業所の二者評価で業務改善を行っており、第三者による外部評価については、実施していません。今後必要に応じて実施を検討していきます

	チェック項目 こうもく	はい	いいえ	工夫している点 くふう てん	課題や改善すべき点を踏まえた改 いぜんよう また かいぜんもくひよう 善内容又は改善目標
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している しよくいん しつ こうじよう おこな けんしゅう きかい かくほ	100%	0%	・外部機関での研修に職員が積極的に参加できるよう体制を整えています がいぶきかん けんしゅう しよくいん せつぎよ たくてき さんか たいせい とどの ・月に1度、施設内での内部研修を実施、常勤・非常勤職員が参加できるよう取り組んでいます つき ど しせつない ないぶけんしゅう じつし じようきん ひじようきんしよくいん さんか	
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している あせすめんと てきせつ おこな こ ほごしゃ ニーズ や 課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している かだい きやっかんてき ぶんせき うえ じどう はったつしえんけいかく さくせい	100%	0%	アセスメントを行う際に、聞き取りと必要に応じて衛生面、行動管理、身辺自立スキル、学習スキル、家事スキル、地域社会生活の領域に分けたアセスメントツールを使用し行うよう あせすめんと おこな きき と かん 必要に応じて衛生面、行動管理、身辺自立スキル、学習スキル、家事スキル、地域社会生活の領域に分けたアセスメントツールを使用し行うよう ひつよう おう えいせいめん こうどうかんり しんべんじりつ がくしゅう かじ キル、地域社会生活の領域に分けたアセスメントツールを使用し行うよう	
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	うにしています。聞き取りに関しては、保護者の方と必要に応じての面談と6ヶ月に1度の定期的な面談を行っています。また、日々の子どもの様子からも課題を考え、個別支援計画を作成させていただいています うにしています。聞き取りに関しては、保護者の方と必要に応じての面談と6ヶ月に1度の定期的な面談を行っています。また、日々の子どもの様子からも課題を考え、個別支援計画を作成させていただいています おこな きき と かん ほごしゃ かた ひつよう おう め さんだん6かげつ ど ていき てき めんだん おこなって ひび こ たち ようす かんが かだい かんが こべつしえん 支援計画を作成させていただいています	
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている じどうはったつしえんけいかく じどうはったつしえん ラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている じどうはったつしえんけいかく じどうはったつしえん さい さくせい さい ほごしゃ めんだん おこない はった つめんかいてい ようす ようちえんどう ち いきせいかつ さまざま してん かだい 地域生活など様々な視点から課題を考えています	100%	0%		
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている じどうはったつしえんけいかく そ しえん おこな 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	常勤職員だけでなく、非常勤職員にも児童発達支援計画が更新された際に周知し、内容の共有を行っています じようきんしよくいん ひじようきんしよくいん じどうはったつしえんけいかく こうしん さい しゅうち ないよう きょうゆう おこなって 周知し、内容の共有を行っています	
14	活動プログラムの立案をチームで行っている かつどう 活動プログラムの立案をチームで行っている りつあん おこなって	100%	0%	指導員・介護福祉士・保育士・臨床心理士等がそれぞれの立場・専門性を活かし、活動プログラムの立案を行っています しどういん かいごふくし ほいくし りんしよ うしんりしどう たちば せんも 性を活かし、活動プログラムの立案を行っています おこなって	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している かつどう 活動プログラムが固定化しないよう工夫している こていか くふう	100%	0%	工作・クッキング・買い物・感覚遊び等、毎月予定を組み、季節感を出したり、子どものリクエストに答える等して、プログラムが固定化しないよう心がけています こうさく かいもの かんかくあそび どう まいつきよてい く きせつかん だ たり、子どものリクエストに答える等して、プログラムが固定化しないよう心がけています こころ	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している こ じようきょう おう こべつかつどう しゅうだんかつどう を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している てきぎ く あ じどうはったつしえんけいかく さくせい	100%	0%	長期目標・短期目標を設定する中に、子どもの状況に応じた個別活動と集団活動を適宜組み合わせています ちようきもくひよう たんきもくひよう せつてい なか に、子どもの状況に応じた個別活動と集団活動を適宜組み合わせています こ じようきょう おう こべつかつ どう しゅうだんかつどう てきぎ く あ	

適切な支援の提供

	チェック項目 こうもく	はい	いいえ	工夫している点 くふう てん	課題や改善すべき点を踏まえた改 いぜんいよう また かいぜんもくひよう 善内容 又は 改善目標
17	しえんかいしまえ しよくいんかん かならずあわせ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ ひ おこなわれる しえん ないよう やくわりぶたん の日行われる支援の内容や役割分担につ かくにん て確認している	67%	33%	しえんかいしまえ しゆりよう しよくいんかん 支援開始前・終了後に職員間での う あ にち ふりかえり じっし 打ち合わせ・1日の振り返りを実施 じようほう きようゆうしえん ほうこうせいなど し、情報の共有・支援の方向性等を	ひじょうきん 非常勤スタッフともっとコミュニ ケーションをとるべきとの意見があ りましたので、より積極的にコミュニ ケーションをとっていきます。
18	しえんしゆうりようご しよくいんかん かならずあわせ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 ひ おこなわれた しえん ふ かえ おこないきづ その日行われた支援の振り返りを行い、気付 てんとう きようゆう いた点等を共有している	67%	33%	はな あ 話し合っています	
19	ひび しえん かん きらく てっぺい 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 しえん けんしやうかいぜん 支援の検証・改善につなげている	100%	0%	まいかい じっしきらく と ほごしや かた 毎回、実施記録を取り、保護者の方 との連絡ツールにもさせて頂いてお ります。 みかえ 見返すことにより、支援の検証・改 いぜん つな 善に繋げています	
20	ていきてき おこない じどうはつたつしえんけ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援 いかく みなおし ひつようせい はんたん 計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	ほごしや かた ひつよう おう めんだん 保護者の方と必要に応じての面談 6かげつ ど ていきてき めんだん おこな と6ヶ月に1度の定期的な面談を行っ て ひび こ たち ています。また、日々の子どもの ようす かない かんが こべつしえんけい 様子からも課題を考え、個別支援計 かく さくせい 画を作成させていただいています	
21	しょうかいじそうだんしえんじきようしよ たんどうしやか 障害児相談支援事業所のサービス担当者会 いぎ こ じようきようせいとう もつと 議にその子どもの状況に精通した最もふさわ しい者が参画している	100%	0%	たんどうしやかいぎ ば か サービス担当者会議の場には、管 理者・保育士等の専門性を持った しよくいん おう かならずしえんけい 職員がケースに応じて必ず出席して います	
22	ほしほけん こ こそだ しえんとう かんけいしや 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や かんけいきかん れんけい しえん おこな 関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	こうてきせんもんきかん けんしゅう さんか 公的専門機関の研修に参加したり、 じよげん いただ れんけい 助言を頂くなど、連携させていただ いています	
23	いりようてき ひつよう こ じゅうしやうしんしんしやうが (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) ちいき ほけん いりよう しやうがいふくし ほいく きよういく 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等 かんけいきかん れんけい しえん おこな の関係機関と連携した支援を行っている	67%	33%		いりようてき ひつよう りやうしや 医療的ケアが必要な利用者さんを う い ばあい たいおう 受け入れる場合は対応させていた だきます
24	いりようてき ひつよう こ じゅうしやうしんしんしやうが (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) こ しゆじい きようりよくいりようきかんとう れんらくたいせい 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制 をととの を整えている	67%	33%		
25	いこうしえん ほいくじよ にんてい えん ouchi 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚 えん とくべつしえんがっこう ouchiぶ どう あいだ しえん 園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援 ないようとう じようほうきようゆうそうごりかい はか 内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	ようちえん がっこう じようほうきようゆうおこな 幼稚園や学校との情報共有を行っ て もくひよう かない きようゆう 目標や課題の共有・アセスメント結 か きようゆうとう さまざま かたち れんけい 果の共有等、様々な形で連携できる よう、保護者の方の協力の元、実施 しています	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

	チェック項目 ちえくくじむ	はい	いいえ	工夫している点 くふう てん	課題や改善すべき点を踏まえた改 いぜんいよう また かいぜんもくひよう 善内容又は改善目標
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	当該施設の利用開始年齢やケース内容などを鑑み、必要に応じて連携させていたしております。 現状としては、就学前に通所していた公的機関との連携が中心になっております。	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	67%	33%	公的専門機関の研修に参加したり、助言を頂くなど、連携させていたしております	
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	33%	67%		現在、交流は行っていません。 保護者の方の中には、交流を望まない意見もあり、心情を汲み取りながら、対応していきたいと思っております
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	67%	33%		現在は、参加できていない状態です。 ひがしおおさかじぎょうしよれんらくかいつうげ東大阪事業所連絡会を通じて、現状の把握や意見を伝えていきたいと考えています
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日々の活動記録は連絡ノートとして、また、必要な時は電話をかけ、保護者の方との情報共有をおこな	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	67%	33%	ていますその中で、ご家庭・学校での出来事などの情報を共有し、必要に応じて面談し、解決に向けて支援を行っています	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	支援内容、利用負担額、運営規定の内容は見学時・契約時にご説明させていただきます。 また運営規定については、施設内入り口に置いてあり、いつでもご確認いただけるようにしています	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	契約時に児童発達支援ガイドラインを提示し、内容の確認をし、同意をいただいております	
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	連絡ノート・電話・面談等で様々な相談を受けております。必要に応じて、幼稚園・小学校・中学校・高校などに出向き、地域支援に繋がっています	

	チェック項目 こうもく	はい	いいえ	工夫している点 くふう 工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改 いぜんいよう また かいぜんもくひよう 善内容又は改善目標
保護者への説明責任等 ほごしやへのせつめいせきにたいする	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を ふぼ かい かつどう しえん ほごしやかい どう 開催する等により、保護者同士の連携を支援 かいさい どう ほごしやどうし れんけい しえん している	33%	67%	父の会は年に1度、母の会は年に数 ちち かい ねん ど はは かい ねん すう 回、開催させていただいています かい かいさい が、コロナウイルス感染症の為、現 かんせんしゅう ため げ 在は自粛しております。 んざい じしゆく	コロナ感染症が落ち着き次第、開催 かんせんしゅう お つ したい かいさい を検討します。 けんとう
	36 子どもや保護者からの相談や申入れにつ こ ほごしや ほうごしや しょうだん もうしいれ て、対応の体制を整備するとともに、子どもや たいおう たいせい せいび こ 保護者に周知し、相談や申入れがあった場合 ほごしや しゅうち しょうだん もうしいれ ばあい に迅速かつ適切に対応している じんそく ときせつ たいおう	100%	0%	日々、連絡ノート・電話・面談等で ひび れんらく でんわ めんだん 様々な相談を受けております。必要 さまざま しょうだん う ひつよう に応じて、幼稚園・小学校・中学校・ おう しょうえん しょうがっこう ちゅうがっこう 高校などに出向き、地域支援に繋 こうこう など でむき ちいきしえん つな がっています げています	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 ていきてき かいほうとう はっこう かつどうがいよう ぎょうじよて 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 れんらくたいせいとう しょうほう こ ほごしや たい して発信している はっしん	67%	33%	毎月、会報誌を発行し、活動概要・ まいつき かいほうし はっこう かつどうがいよう 活動予定・連絡事項をご案内させて かつどうよてい れんらくじこう あんない いただいております いただいております	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している こじんじょうほう とりあつかい じゅうぶんちゅうい	100%	0%	個人情報使用同意書・重要事項説 こじんじょうほうしやうどういしょ じゅうようじこうせつ 明書に記載してある守秘義務を順 めいしょ きさい しゅひぎむ じゅ 守しています んしゅ	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や しょうがい こ ほごしや いし そつう 情報伝達のための配慮をしている じょうほうでんたつ はいりよ	100%	0%	視覚的にわかりやすいよう掲示物な しかくてき けいじぶつ どで工夫したり、1日のスケジュール くふう ようちえん 1にち が必要なお子さんに対しては、個人 がひつようなこどもさんに対しては、こじん 的に用意しております。 てき ようい 保護者の方には連絡ノートで対応し ほごしや かた れんらく たいおう ています ています	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域 じぎょうしょ ぎょうじ ちいきじゅうみん しょうたい どうちいき に開かれた事業運営を図っている ひら じぎょううんえい はか	67%	33%		げんざい おこなって 現在、行っていません。 ほごしや かた なか こうりゅう のぞ 保護者の方の中には、交流を望ま ない意見もあり、心情を汲み取りな いけん しんじょうく と がら、対応していきたいと思ってい たいおう おも ます。 ます。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 きんきゅうたいおう ぼうはん かんせ 症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者 んしょうたいおう どう さくてい しょくいん ほごしや に周知するとともに、発生を想定した訓練を実 しゅうち せいせい そうてい くんれん じつ 施している し	67%	33%	各種マニュアルは策定されていま かくしゅ さくてい す。各種マニュアルは施設内入り口 かくしゅ しせつない いりぐち に置いてあります。 お 緊急対応・防犯・感染症対応をテー きんきゅうたいおうぼうはん かんせんしょうたいおう マに職員研修を継続して行っていま しょくいんけんしゅうけいぞく おこな す。 す。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 ひじょうさいがい ぼっせい そなえ ていきてき ひなん きゅうしゅ その他必要な訓練を行っている ほかひつよう くんれん おこなって	100%	0%	・職員会議で、定期的に避難経路の しょくいんかいぎ ていきてき ひなんけいろ 確認や救出のための方法の確認等 かくにん きゅうしゅつ ぼうほう かくにんどう を行っています。 おこな	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の じぜん ふくやく よぼうせつしゅ ほっさとう こどもの状況を確認している じょうきよう かくにん	100%	0%	契約時に保護者の方から伺ってい けいやくじ ほごしや かた うかが ます。 たいおうさく ほごしや かた きょうぎ 対応策は、保護者の方と協議してい ます ます	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	67%	33%	契約時または面談時にアレルギーについて保護者の方から伺っています。対応策は、保護者の方と協議しています	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	67%	33%	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しています	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	67%	33%	人権擁護の研修会に職員が参加し、施設内研修に繋げ、全職員で虐待防止に繋がっています	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	67%	33%		現在、契約の際に、保護者の方には説明をしますが、身体拘束を必要とするケースが無いので、計画に記載はしていません。 必要がある場合は個々に応じて職員、保護者が何度も話し合い、内容を決めていし、了解を得た上で、計画書に記載します。その後も状態を把握し、内容を更新していく事としています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。